

京都市下京青少年活動センターが移転 4/20オープン

新しい「京都市下京青少年活動センター」が、JR京都駅の東側に移転、この4月20日から利用が始まります。地図を見ただくと塩小路通河原町東入ル下ルにあつて、JR京都駅から徒歩10分以内の場所、近鉄電車や京都市営地下鉄そして市バス、さらに京阪電車の七条駅があり、交通の便がたいへんよくなります。また高速道路の鴨川西・鴨川東インターからは、おおよそ10分で到着します。この好条件を活かした、新しい活動の場として考えていきたいと思えます。さらに、将来は京都市立芸術大学が近くに移転してくる計画もあり、周辺の環境が大きく変化しそうです。

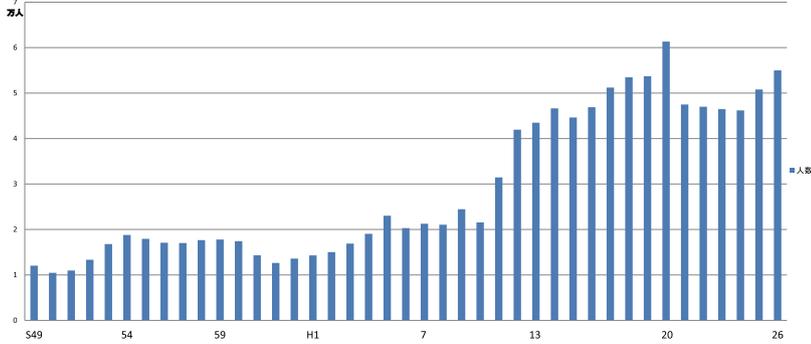
利用者数120万人

ここで旧下京青少年活動センターの歴史を紹介しますと、昭和49年4月、下京青年の家（京都市



下京勤労青少年ホーム）という名称で、下京区西七条北東野町の地に開所しました。建設の際は、地元の商店、企業を中心に2,036万円もの寄付金をいただきました。集団就職などで、京都で生活を始めた勤労青少年の憩いの場として、勤務が終わったあとや、休日の活動を中心として利用されました。中央市場駐車場での「盆

(表1)京都市下京青少年活動センター利用者数推移表



踊り大会」や、館内で開催された「フオーク・コンサート」、そして休日のハイキングなどのレクリエーションや、書道や茶道、英会話・パソコン教室などの学習活動が実施されました。

やがてこの勤労青少年向けの対策事業は、転機を迎えます。平成13年4月、「青年の家」または「勤労青少年ホーム」の名称を、「青少年活動センター」に変更しました。そして、利用対象を「15歳以上31歳未満」から、「13歳（中学生）以上31歳未満」に変更しました。青少年活動センターの始まりです。

利用者数の推移（表1参照）を見ると、この変更は一定の成果を上げてきたことが分かります。昭和49年から平成26年まで40年間の利用者数は約120万人で、平成13年度あたりから利用者数が大きく伸びています。現在は、中学生や高校生の利用も多く、スポーツルームを分け合って使用する「フリータイム」など、学校帰りの利用も増えました。また、高校生から大学生を中心としたボランティア活動は一年を通して行われるようになりました。小学生を対象に野外活動を計画するグループや、商店街の活性化や地域にかかわっ



〒600-8202
京都市下京区川端町13
電話 075-353-7750
FAX 075-353-7740

ていくグループなどです。また、各ボランティアグループのつながりが、楽しい雰囲気を作りだし、他の青少年グループが自然と協力する場面もあります。これからも青少年を中心に、新しい施設で地域の活動グループや、人のつながりを大切に活動を続けていきたいと思えます。

